

# 好天に恵まれ、歓声にぎやか運動会

町内の小、中学校でにぎやかに運動会が行われました。

5月27日、今年のトップで開いたのは東川小学校（村田俊昭校長、365人）。前日の雨模様から一転、午後には晴れ間も広がる天気を持ち直し、グラウンドに歓声が響きました。



5,6年生の団体競技「風林火山」  
(東川小)



5,6年生のゲーム「観客の皆さん、一緒に」  
(第一小)



PTA東西対抗大玉リレー  
(第二小)



YOSAKOIソーラン  
(第三小)

第一小学校（澤田安男校長、31人）、第二小学校（工藤芳美校長、41人）、第三小学校（寺川利幸校長、25人）の各校はともに6月3日、東川養護学校（高橋正志校長、115人）は翌4日に開きました。PTAのお父さん、お母さん、消防団、地域の先輩卒業生の



小学部低学年の徒競走「よ〜い、どん!」  
(東川養護学校)



うさぎ組(2歳児)をお寿司に見立てて早く運ぼう  
「へい!おまちっ!」(幼児センター)

方々が道具運び、運営、競技出演にと大活躍しました。  
幼児センター（伊藤和代園長、251人）は同月16日に開きました。天候は少しぐずつき模様でしたが、幼児たち、パパ、ママの熱の入った競技で午前中は雨を寄せ付けず、元気な笑顔がグラウンドいっぱいに弾けました。

# 年々大きく「コープの森」今年も植樹



6月2日、東3号北6線の町有林で「コープの未来（あした）の森づくり」の植樹祭が行われました。

生活協同組合コープさっぽろ（本部札幌）の社会貢献活動の一環として全道各地で取り組んでいる森づくり。旭川地区本部（15店舗）の組合員親子46人が来町、約20㍓にイタヤカエデとナカマドの苗木各200本ずつを植栽しました。

初夏を思わせる晴天に恵まれ、残雪の旭岳もくっきり。お母さん、お父さんと一緒に訪れた子供たちは、大きなスコップを両手でしっかりと握って小さな苗木を一生懸命に植え、大きな森に育つ姿を思い描いていました。